

令和元年度第1回災害医療対策部会議事概要

日時：令和元年8月29日（木）

19：00～20：15

場所：吉田山206会議室

【審議事項】

（1）災害拠点病院の指定について

委員 三重県は南海トラフ地震が発生した際に、高知県に次いで被害が大きい。伊勢はゼロメートル地帯が広範囲に広がっており、災害拠点病院を追加する必要がある。

[市立伊勢総合病院の災害拠点病院指定について、全会一致で承認]

【報告事項】

（1）三重DMAT派遣要請の考え方（案）について

委員 現在の案では、救命救急センターにかなりの負担がかかる。

オブザーバー

DMAT・SCU連絡協議会でも、色々な意見をもらっている。救命救急センターにも納得してもらえるような仕組みをさらに検討していきたい。

委員 救命救急センターは受け入れる体制がかなりできていると思うが、他の災害拠点病院は受入れ体制を整備する必要がある。

委員 マニュアルをしっかりと作ったうえで、常に臨機応変に対応していかななくてはならない。

（2）災害時のコーディネート体制の整備について

委員 災害医療コーディネーターが、交通手段の遮断などで保健所等へ参集できないことも考えられる。サブのコーディネーターの委嘱なども考えていく必要がある。

事務局 今年2月に「災害医療コーディネーター活動要領」が国から示されたことも踏まえ、コーディネーター制度を見直す必要があると考えている。

委員 災害時小児周産期リエゾンだけでは活動が難しい。小児科医師のDMATを養成するのがいいのではないか。

【その他】

委員 公助に頼るだけでなく、「自分の命は自分で守る」意識を高めていく必要がある。自分の医療情報について、伝える手段を確保しておいてもらうことが大事である。